# 令和5年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」と

# 令和5年度全国学力・学習状況調査(3年)から見える田柄中学校の傾向

# 1 全国学力・学習状況調査(3年) 田柄中学校の結果概要

	田柄中学校(東京都比較)	東京都	全国	
国 語	7 6 % (+ 4 %)	7 2 %	69.8%	
数 学	6 1 % (+ 7 %)	5 4 %	5 1 %	
英 語	6 1% (+9%)	5 2 %	45.6%	

- ・すべての教科で東京都の平均を上回る結果となった。
- ・各教科の設問で、東京都の正答率を下回ったものは以下の通り。(英語はなし)

## 【国語】

	田柄中	東京都	全国
1 —	86.4%	89.2%	87.5%
1三	78.2%	79.2%	76.6%
2 —	90.5%	92.5%	91.1%

- 1一:インタビューの前に準備したメモについて 説明したものとして適切なものを選択する
- 1 三:相手の話を受けて発した質問について、述べ 方の工夫とその意図を説明したものとして適 切なものを選択する
- 2一:「落胆する」の意味として適切なものを選択 する

# 【数学】

	田柄中	東京都	全国
1	45.9%	46.9%	46.1%
4	41.8%	44.2%	42.8%
7 (2)	31.5%	36.5%	33.6%

- 1:複数の数字から自然数をすべて選ぶ
- 4:yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの 値とそれに対応するyの値について、正しい記 述を選ぶ
- 7(2): 2006 年~2020 年の黄葉日、1991 年~2005 年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」 と主張することができる理由を、箱ひげ図の 箱に着目して説明する
- 2 全国学力・学習状況調査(3年)と「児童・生徒の学力向上を図るための調査」傾向と分析

#### 【国語】

- ・国語を「得意」と感じている生徒が 70.1%に対して、授業を理解している生徒は 93.5%である。 →不得意に感じている生徒に対しても、授業内での理解が促されている。
- ・学習の進め方について、「他の人の話を聞くときは、メモを取って理解するようにしている」が 57.6%で、さらに「文章を読んで理解してことや考えたことなどを他の人に説明している」も 48.1%である。
  - →**聞いたり、話したりすることに課題**が見られる。それが東京都との設問正答率に差が出た要因であると考えられる。

### 【数学】

- ・数学を「得意」と感じている生徒が 61.4%に対して、授業を理解している生徒は 78.8%である。
  →ともに国語と比べると割合が低く、苦手意識を持っている生徒が多いと考えられる。
- ・「まちがえた問題は、どこでまちがえたのかを考えている」生徒は90.5%である。
  - →「考えている」生徒の水準は高いが、それを**「理解する」までに至っていない傾向**がある。
- ・「問題文や内容を図や表、グラフに表して考えている」生徒は66.5%である。
  - →問題を整理し、順序立てて考察することに課題が見られる。

#### 【英語】

- ・英語を「得意」と感じている生徒が 49.6%に対して、授業を理解している生徒は 74.4%である。
  - →数学と同様、苦手意識を持っている生徒が多いと考えられる。また、不得意と感じている生徒 も授業内で理解が促されている傾向がある。
- ・正答率が低かったものとして、「学校生活の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明 するまとまりのある文章を書く」(11%)が挙がる。
- →ライティングは難易度が高い問題であり、全国的にも正答率が低い(7.4%)が、授業内でのライティング活動に力を入れていく必要があると考えられる。

### 【その他】

- ・学習の動機は「しっかり考えられるようになりたい」が **82.5%**で、「先生や家の人にほめられたり、ごほうびをもらえたりするから」は **43.8%**である。
  - →外部からの動機付けよりも、内在的なものが大きな割合を占めているように考えられる。
- ・学習の進め方で最も低い割合だったものが、「自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝 えようとしている」というものであった。
  - →授業において、**自らの考えを対話的に**伝える場面を積極的に設定する必要がある。

#### 3 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」概要(1・2年)

#### 【授業での理解】授業が「理解できる」と答えた生徒の割合

	国語	社会	数学	理科	英語
1年	84.3%	87%	92.2%	84.4%	83.5%
2年	65.4%	70.7%	79.2%	84.6%	71.6%

### 【教科への意識】その教科を「得意(傾向)である」と答えた生徒の割合

	国語	社会	数学	理科	英語
1年	33.9%	63.5%	67.8%	58.3%	70.5%
2年	43.8%	39.2%	44.6%	53.8%	55.4%

※3年生の【その他】と同様の傾向が見られる。